

輝く高台に向けて

相良牧之原IC（インターチェンジ）北側区域の整備構想を策定



区域の概要
 区域面積 約28ha（約280,000㎡）
 所在地 牧之原市東萩間
 東名高速道路相良牧之原IC北側（約500m）

東名相良牧之原IC北側区域の整備構想を策定しました。市では、地域と一緒に新たなまちづくりに取り組んでいきます。
 問い合わせ 新拠点整備室 西川 ☎32648

東名相良牧之原IC上空付近から開発区域を望む（平成27年12月撮影）

輝く高台開発プロジェクトの推進

東名高速道路相良牧之原IC北側区域の開発は、第2次牧之原市総合計画の重点プロジェクト「輝く高台開発プロジェクト」の一つとして位置付けられています。

昨年5月には、県が進める防災・減災と地域成長の両立を目指す「内陸フロンティア推進区域」に指定され、市と県が一体となって開発に取り組んでいます。

現在、地権者や地区の皆さんを対象とした説明会や勉強会を開催するほか、自治会役員、地区住民や地権者の代表者で構成する「地区協議会」を設置し、意見交換を行っています。

このたび、まちづくりの基本となる考え方、区域における土地利用の方針を示す「整備構想」を策定しました。

整備構想の内容

「まちづくりの基本的な考え方」

相良牧之原IC、富士山静岡空港などに近接する交通利便性を生かして、国内外の人たちと交流し、「まき

のほら」を発信、アピールするまち

農業の6次産業化、新たなお茶の魅力づくりなどを展開し、持続的に発展する農業・茶業を創生するまち

新たな産業集積により雇用を創出し、地域経済を活性化するまち

市民や企業が安心、快適に暮らし、活動できるように災害と環境に配慮したまち

◎広域交流・産業交流拠点
 ◎儲かる農業振興の拠点

「区域内に導入する機能」

○にぎわいの場

- 農業・茶業振興の場
- 雇用の場
- 快適な住宅用地
- 公共機能の充実

地域と共にまちづくりを進める

今後、地権者や地区の皆さんと共に学び、対話を重ねながら、具体的な土地利用の検討、まちづくりの理念を共有できる進出企業の誘致などに取り組んでいきます。

区域だけでなく、市全体の定住・交流人口の拡大、農業・茶業の振興、雇用の確保などを実現する「幸せあふれ、みんなが集う」まちづくりを地域と共に進めていきます。

区域内に導入する機能

